

●目的「自ら考え、行動の取れる人間性の向上をめざす」

●目標

- (1) 時間の効率化を考え、高度な文武両道をめざす
- (2) 自分で判断し、リスクを恐れず、積極的にプレーする
- (3) フェアプレー精神を忘れず、チームワーク良く最後まで闘う
- (4) 次のカテゴリーにおいても、サッカーを楽しむ

●チーム作りのコンセプト

- (1) オフ・ザ・ピッチにおいて
 - ①集団の一員として、責任ある行動が取れる。
 - ②だれに対しても、自ら元気良くあいさつができる。
 - ③失敗を恐れず、積極的に物事に取り組む姿勢を育てる。
- (2) 基本・基礎、技術・戦術・フィジカルの徹底及び習慣化
 - ①個人としてパーフェクトスキルを目指す。
 - ②攻守における個人戦術・優先順位を理解する。
 - ③攻守におけるチーム戦術を意識する。
 - ④最後まで闘える、持久力・スピードをつける。
- (3) 精神面の強化
 - ①物事の優先順位を考え、めりはりのある生活を送る（コンセントレーション&リラックス）
 - ②話を聴き、素早く反応できる理解力と行動力をつける（インテリジェンス）
 - ③失敗を恐れず、物事を前向きにとらえ再び挑戦する（ポジティブシンキング&トライ）
 - ④チームのために、何が出来るか常に考えることができる（フォアザチーム）
 - ⑤自分の個性を理解し、相手に負けない、闘う姿勢をもつ（ファイティングスピリッツ）

●現チームコンセプト 「UNITE（団結）」

～ゲームコンセプト「コンパクトフィールドを保ち、組織的に攻守」～

●主な大会及び活動（12年度）

- 4月 県総体1次予選
- 5月 県総体2次L 県総体決勝T 4級審判認定講習会
- 6月 県リーグC①②③ 4級審判認定講習会
- 7月 県リーグC④⑤⑥⑦ 選抜大会中勢地区予選
- 8月 静岡遠征合宿 15日9:30～OB戦 選抜大会県大会（中勢トレセン）
- 9月 高校サッカー選手権抽選会
- 10月 高校サッカー選手権1次予選
- 11月 高校サッカー選手権2次L 決勝T
- 12月 サッカーフェスティバルへの参加予定
- 1月 新人大会 4級審判更新講習会
- 2月 新人大会 三送会 4級審判更新講習会
- 3月 遠征合宿予定 4級審判更新講習会

その他、練習の成果確認のため、随時練習試合を行っています。

*年間総試合数約70試合（平均すれば、ほぼ毎週試合していることになりま
す。）うち、2011年度は、70%は対外試合で、30%は本校に来ていただいて
試合を行いました。

●部員及び練習について

現在全部員28名で、プレーヤー24名（初心者3名います。）とマネージャー4名が在籍しています。

練習時間 原則（平日）授業終了 20 分後 ～ 18:30（水・金は少し早く終了）
 （休日）9:00 ～ 12:00（公式戦・TRG・1日練習の場合は除く）
 ＊土日に練習や試合が入った場合は、基本月曜日を休養日としています。その他、大会のない試験期間、長期休業中、始業前日等、年間にすれば、約 100 日の休養日があります。平日は不足しがちな学習時間も、休養日の使い方次第で十分確保できます。

●スタッフ

監督：田中 稔（JFA C級指導員、2級審判員）
 部長：田中 雄紀

●公式戦試合結果

	2011 年度	2012 年度
県総体（IH 予選）	3 回戦敗退	1 回戦 ● vs 津西 0-1
県リーグ	C:8 チーム中 4 位	C: 8 チーム中 5 位
選抜大会地区予選	1 次リーグ 敗退	1 回戦 ○ vs 神戸 2-1 2 回戦 ● vs 津西 0-0 PK0-3
選抜大会県大会		中勢トレセンのメンバーとして出場（1名） 1 回戦 ○ vs 四日市工業 3-2 準々決勝 ○ vs 海星 0-0 PK 勝ち 準決勝 ● vs 名張桔梗丘 0-6 結果 第 3 位
選手権予選	1 回戦敗退	
新人大会	2 回戦敗退	

●卒業生のおもな進路（11年度）

名古屋大学、愛知教育大学、三重大学、高知大学、
 中京大学、名古屋学院大学、長浜バイオ大学、
 鈴鹿医療科学大学、名古屋医専

中学生の皆さんへ（顧問より）

私は、昨年から津東高校の顧問となり、「何が本校サッカー部の生徒に必要なのか？」を考え部活動に臨んでいます。昨年度、部員（マネージャーも含む）の多くが、実践経験不足等により、力が出し切れていないことに気が付き、年度途中から、試合数・練習量を増加しました。その成果でしょうか、少しずつではありますが変化が出始め、がんばる生徒も増えてきました。しかし、まだまだ発展途上です。大きな変化を起こす可能性があると思っています。

本校の指導の基本は、普通科公立高校の生徒として、サッカーの技術だけでなく、将来を見据えて、文武両道を図ることです。その中で、人間性を高め、生涯にわたってサッカーに関わり続けてくれる生徒が出てくれることを願っています。11年度の卒業生は、多くの者が文武両道を見事成し遂げ、志望の進路実現を達成してくれました。この中には、「大学でもぜひサッカー部に入りたい」と卒業した生徒もおり、4年後には指導者として戻ってきてくれるのではないかと今から楽しみにしています。

大会での成績は、チームとしては、今のところまだまだ出ていません。しかし、しっかりやれる環境は整ってきましたし、本気でやろうとする生徒も増えてきたと感じています。今は上手でなくても結構！サッカーが好きで、やる気のある人、我々とともに、本校サッカー部の歴史を刻みましょう！！